

国名 ヨルダン	若年層へのキャリアカウンセリング能力向上プロジェクト
------------	----------------------------

I 案件概要

事業の背景	ヨルダン統計局によると、2016年の20歳から24歳の失業率は33.3%と非常に高く、若者が人口の7割を占める同国において、若者の雇用問題への対応は急務であった。JICAは「キャリアガイダンス／雇用システム能力向上プロジェクト」（2013年～2016年）を実施し、労働省（Ministry of Labor: MOL）傘下の雇用事務所（Employment Offices: EOs）の職員の能力強化やサービス提供環境整備を通して、EOsの機能強化を図った。しかしながら、若年の雇用を促進するためには、EOsに加え、アブドゥラー2世国王開発財団（King Abdullah II Fund for Development: KAFD）が支援する大学のキャリアガイダンス事務所（Career Guidance Offices: CGOs）においても、効果的なキャリアカウンセリングサービスの提供や、産官学連携による若者のキャリアカウンセリング支援の推進等のさらなる能力強化が求められていた。			
事業の目的	本事業は、パイロット EOs/CGOs において、キャリアカウンセリングの産官学連携体制の構築、パイロット EOs/CGOs のキャリアカウンセリング能力の向上、キャリアカウンセリングツールの開発、若者の雇用促進により、パイロット EOs/CGOs が提供する若年層へのキャリアカウンセリングの質と量の向上を図り、もってパイロット EOs/CGOs 及び他の EOs/CGOs で効果的な若年層へのキャリアカウンセリングの実施に寄与することをめざす。			
	1. 上位目標：パイロット EOs/CGOs 及び他の EOs/CGOs で効果的な若年層へのキャリアカウンセリングが実施される 2. プロジェクト目標：パイロット EOs/CGOs が提供する青少年のキャリアカウンセリングの質と量が向上する			
実施内容	1. 事業サイト： ・5 パイロット EOs（イルビッド EO、アンマン 1EO、アンマン 2EO（サハーブ）、ザルカ EO、アカバ EO） ・6 パイロット CGOs（ヨルダン科学技術大学（Jordan University of Science and Technology: JUST）、ペトラ大学（University of Petra: UOP）、ドイツ・ヨルダン大学（German Jordan University: GJU）、アル・バルカ応用大学（Al-Balqa Applied University: BAU）、アル・フセイン・ビン・タラル大学（Al-Hussein Bin Talal University: AHU）、アカバコミュニティカレッジ（Aqaba Community College University: ACCU））			
	2. 主な活動：1) 産官学連携を通じたキャリアカウンセリングの体制構築、2) パイロット EOs/CGOs のキャリアカウンセリングの能力向上、3) キャリアカウンセリングツールの開発、4) 若者の雇用を促進するための雇用主向けの活動の実施 3. 投入実績 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;"> 日本側 (1) 専門家派遣：6人 (2) 研修員受入：31人 (3) 機材供与：パソコン、プロジェクトター </td> <td style="width: 50%; border: none;"> 相手国側 (1) カウンターパート配置：MOL10人、KAFD7人 (2) 施設・機材：MOL 及び KAFD の業務スペース及び必要資機材 (3) 現地活動経費：ヨルダン国内における機材輸送費、導入・維持管理費 </td> </tr> </table>			日本側 (1) 専門家派遣：6人 (2) 研修員受入：31人 (3) 機材供与：パソコン、プロジェクトター
日本側 (1) 専門家派遣：6人 (2) 研修員受入：31人 (3) 機材供与：パソコン、プロジェクトター	相手国側 (1) カウンターパート配置：MOL10人、KAFD7人 (2) 施設・機材：MOL 及び KAFD の業務スペース及び必要資機材 (3) 現地活動経費：ヨルダン国内における機材輸送費、導入・維持管理費			
事業期間	(事前評価時) 2017年2月～2020年2月 (36カ月) (実績) 2017年4月7日～2020年4月6日 (36カ月)	事業金額 (日本側のみ)	(事前評価時) 303百万円、(実績) 295百万円	
	相手国実施機関 労働省（Ministry of Labor: MOL）及びアブドゥラー2世国王開発財団（King Abdullah II Fund for Development: KAFD）			
日本側協力機関	株式会社パデコ			

II 評価結果

【評価の制約】

- ・事業完了後に満足度調査が実施されておらずデータが得られなかったため、プロジェクト目標の指標3の継続状況は評価判断できなかった。
- ・上位目標については、限られた情報に基づき評価判断を行った。指標1-2については、データがないため、「プロジェクトの成果（本事業で作成したツール等の成果物）」を活用している大学／短期大学の正確な数は確認できなかった。指標3については、6つのパイロットCGOsのうちBAUのみからデータを入手できた。その他のパイロットCGOsは、来訪者数しか記録していないか、またはCGOsを利用した卒業生の就職状況を把握していないため、CGOsを利用した卒業生の就職率を確認することができなかった。

1 妥当性/整合性

<妥当性>

【事前評価時のヨルダン政府の開発政策との整合性】

本事業は、事前評価時点におけるヨルダンの開発政策と整合性が高い。ヨルダン政府は「国家雇用戦略 2011-2020」において、若者の失業を重要課題として位置づけており、同戦略では教育から就労への移行プログラムの強化を中期的な取り組みの優先事項の1つとしていた。

【事前評価時のヨルダンにおける開発ニーズとの整合性】

本事業は、事前評価時点におけるヨルダンの開発ニーズと整合性が高い。若者の雇用問題への対応は喫緊の課題である中、

E0s や CGOs は、教育機関へのキャリアカウンセリング支援や、産官学連携による若者のキャリアカウンセリング支援の推進など、さらなる能力強化が求められていた。

【事業計画/アプローチの適切性】

本事業の計画/アプローチは適切である。事業計画/アプローチに起因する課題は確認されなかった。

ジェンダー課題に関しては、働く女性が、大多数を占める男性労働者よりも多くの問題を抱えていることが確認されたため、職場でどのように女性を支援するか、男女平等の職場環境をどのように推進するかといった議題が、雇用主セミナーで取り上げられた。また、就職の大きな障壁に直面する障害をもつ人々のために、本事業では、障害をもつ求職者が直面する問題をキャリアカウンセリングガイドラインや研修教材に盛り込んだほか、障害をもつ求職者向けのキャリアカウンセリングのケーススタディ教材の開発や、障害をもつ学生を対象としたキャリアガイダンス・セッションの開催等が実施された。

【評価判断】

以上より、本事業の妥当性は③¹と判断される。

<整合性>

【事前評価時における日本の援助方針との整合性】

本事業は、事前評価時の日本の対ヨルダン援助方針と整合している。本事業は、「対ヨルダン・ハシェミット王国国別援助方針」（2012年6月）の重点分野の1つである「自立的・持続的な経済成長の後押し」に資するものであり、開発課題である経済成長の基盤整備の中で、自立的・持続的な産業振興と質の向上プログラムに位置づけられた。

【JICA他事業・支援との連携/調整】

事前評価時において、本事業と JICA の「障害者の経済的エンパワメント及び社会参加促進プロジェクト」（2017年～2020年）との連携/調整は計画されていなかったが、事業実施中に連携/調整され、事後評価時に正の効果が確認された。同事業と本事業との相互連携の結果、ヨルダン大学では障害のある学生を対象としたキャリアガイダンスが開催され、研修コースでは障害をもつ求職者のケーススタディ教材が開発された。また、この連携を通じて、本事業は障害者雇用に積極的な企業の情報を入手し、障害をもつ若者の雇用促進を図った。

【他機関との連携/国際的枠組みとの協調】

事前評価時において、ドイツ国際協力公社（Deutsche Gesellschaft für Internationale Zusammenarbeit: GIZ）が支援する「雇用促進プログラム」との連携/調整は計画されていなかったが、事業実施中に連携/協調が実施され、事後評価時に正の効果が確認された。同プログラムと本事業は、それぞれの成果を活用し、例えば、GIZ の専門家はいくつかのワーキンググループ会合やキャリアカウンセラーの研修コースにオブザーバーとして参加し、GIZ が作成した労働市場調査報告書をキャリアカウンセラーの研修コースの教材として活用した。両事業の効果を最大限に活用することで、E0s のスタッフは若者に質の高いキャリアカウンセリングや就労サービスを提供するための幅広いスキルと知識を習得した。さらに、本事業完了後、GIZ は MOL に対してキャリアカウンセラーの資格認定制度の導入を支援しており、この取り組みは、MOL のキャリアカウンセリングサービスの体制整備を後押ししている。他方、MOL 傘下の全 17 の E0s は、本事業で提供されたツールや教材を活用してキャリアカウンセリングサービスを提供しており、他の開発パートナーとの連続する協力関係は、キャリアカウンセリングサービスの量と質の向上に貢献している。

【評価判断】

以上より、本事業の整合性は③と判断される。

【妥当性・整合性の評価判断】

以上、本事業の妥当性及び整合性は③と判断される。

2 有効性・インパクト

【プロジェクト目標の事業完了時における達成状況】

事業完了時までに、プロジェクト目標は計画を超えて達成された。指標 1-1 については、すべてのパイロット E0s が目標を上回った。パイロット E0s を利用した若年求職者数は、2016 年から 2020 年にかけて 118%増加した（目標：30%増加）。指標 1-2 については、すべてのパイロット CGOs において、CGOs を利用した学生及び卒業生の数が、大学／短期大学の学生総数の 20%を超えた。指標 2 については、すべてのパイロット E0s と CGOs が目標を達成あるいは上回った。各パイロット E0/CGO の活動に協力した企業の合計は、目標値 220 社に対して実績値は 344 社であり、達成率は 156%であった。指標 3 については、パイロット E0s/CGOs を利用した若年求職者及び学生の満足度の総合平均が 5 段階評価で 4.2 点（目標：3.5 点）であった。

【事業効果の事後評価時における継続状況】

事後評価時点で、本事業の効果は継続している。4 つの指標のうち 1 つはデータがないため評価判断ができなかった。指標 1-1 については、新型コロナウイルス感染症 2019 (COVID-19) の感染拡大により、特に 2021 年に E0s を利用する求職者数に影響を及ぼしたものの、パイロット E0s を利用した若年求職者数の合計は、事業完了後目標を毎年上回り、増加し続けている。指標 1-2 については、6 つのうち 3 つのパイロット CGOs において本事業で導入された活動を継続しており、2023 年にはパイロット CGOs を利用する学生や卒業生の数が事業完了時に比べて増加している。残り半数の CGOs は、組織改編や人事異動により、本事業で導入された活動を十分に継続していない。指標 2 については、パイロット E0s/CGOs の活動に協力した企業数は、事業完了時の 344 社に対し、2023 年には合計 484 社に達した。指標 3 については、KAFD は、満足度は 4.5 点程度ではないかと述べているが、パイロット E0s/CGOs を利用した若年求職者や学生からの満足度調査は実施されていない。したがって、満足度データがないため、評価判断が困難である。

【上位目標の事後評価時における達成状況】

上記「評価の制約」で述べたとおり、限られたデータに基づいて評価判断が行われたものではあるが、事後評価時点までに、上位目標はおおむね計画どおりに達成された。指標 1-1 については、17 すべての E0s が「プロジェクトの成果」（キャリアカウンセリングツール²）を活用してキャリアカウンセリングを提供している。指標 1-2 については、KAFD によると、ツールは

¹ ④：「非常に高い」、③：「高い」、②：「やや低い」、①：「低い」

² キャリアカウンセリングツール：1. キャリアカウンセリング要約小冊子、2. キャリアカウンセラー・サポートブック、3. プロモーション小冊子、4. プロモーション動画「キャリアカウンセリング」、5. プロモーション動画「キャリアカウンセラーはあなたとともに」、6. プロモーションムービー「君の未来を一緒に考えよう」

すべての CGOs に配布されたが、「プロジェクトの成果」を活用している大学／短期大学の正確な数は確認できなかった。指標 2 については、パイロット EOs を利用した若年求職者の 2023 年の就職率が 49.8%（目標：50%以上）と推定され、おおむね達成された。指標 3 については、6 つの CGOs のうち BAU が提供したデータによると、CGO を利用した卒業生の就職率は 67%（目標：40%以上）であった。しかし、6 つのパイロット CGOs のうち 1 つの CGO のデータしか入手できなかったため、この指標の達成度は検証できない。

【事後評価時に確認されたその他のインパクト】

自然環境や社会環境への負の影響は確認されなかった。女性のエンパワメントについて、本事業は女性のキャリアカウンセラーの活動を支援し、研修の実施やキャリアカウンセリング実践のフォローアップ支援を通じて、多くの女性のエンパワメントに貢献した。本邦研修に参加した CGO の女性スタッフは、女性と若年層雇用促進にかかるスタッフ計画を研修の成果として発表した。

【評価判断】

以上より、本事業の有効性・インパクトは③と判断される。

プロジェクト目標及び上位目標の達成度

目標	指標	実績	情報源																																																							
プロジェクト目標 パイロット EOs / CGOs が提供する青少年のキャリアカウンセリングの質と量が向上する	(指標 1-1) プロジェクト終了時 (2020 年) までに、パイロット EOs を利用する若年求職者数が、2016年の数値と比較して 30%増加する	<p>達成状況 (継続状況) : 計画を超えて達成 (継続し、発展) (事業完了時)</p> <p>すべてのパイロット EOs は目標を上回った。これらの EOs を利用する若年求職者の数は、2016 年の 7,015 人から 2020 年には 15,294 人に増加した (118%増)。</p> <p>(事後評価時)</p> <p>COVID-19 の感染拡大により、特に 2021 年に EOs を利用する求職者数に影響を及ぼしたにもかかわらず、パイロット EOs を利用した若年求職者数の合計は、事業完了後目標値を毎年上回り、増加傾向にある。2023 年にアンマン E02 (1,330 人) とアカバ E0 (760 人) を利用した若年求職者の数は、2020 年の目標値 (それぞれ 2,007 人と 911 人) を下回ったが、それ以外の EOs では、2020 年の目標値を上回っている。</p> <p style="text-align: center;">パイロット EOs を利用する若年求職者の数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>基準値</th> <th>目標値</th> <th colspan="4">実績値</th> </tr> <tr> <th>2016</th> <th>2020</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イルビッド E0</td> <td>979</td> <td>1,274</td> <td>3,686</td> <td>1,756</td> <td>2,734</td> <td>2,601</td> </tr> <tr> <td>アンマン 1 E0</td> <td>2,334</td> <td>3,034</td> <td>5,177</td> <td>4,148</td> <td>4,486</td> <td>3,442</td> </tr> <tr> <td>アンマン 2 E0</td> <td>1,544</td> <td>2,007</td> <td>2,470</td> <td>1,846</td> <td>1,859</td> <td>1,330</td> </tr> <tr> <td>ザルカ E0</td> <td>1,457</td> <td>1,894</td> <td>2,777</td> <td>1,338</td> <td>1,213</td> <td>2,425</td> </tr> <tr> <td>アカバ E0</td> <td>701</td> <td>911</td> <td>1,184</td> <td>270</td> <td>199</td> <td>760</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7,015</td> <td>9,120</td> <td>15,294</td> <td>9,358</td> <td>10,491</td> <td>10,558</td> </tr> </tbody> </table>		基準値	目標値	実績値				2016	2020	2020	2021	2022	2023	イルビッド E0	979	1,274	3,686	1,756	2,734	2,601	アンマン 1 E0	2,334	3,034	5,177	4,148	4,486	3,442	アンマン 2 E0	1,544	2,007	2,470	1,846	1,859	1,330	ザルカ E0	1,457	1,894	2,777	1,338	1,213	2,425	アカバ E0	701	911	1,184	270	199	760	合計	7,015	9,120	15,294	9,358	10,491	10,558	事業完了報告書及び MOL
	基準値	目標値		実績値																																																						
	2016	2020	2020	2021	2022	2023																																																				
イルビッド E0	979	1,274	3,686	1,756	2,734	2,601																																																				
アンマン 1 E0	2,334	3,034	5,177	4,148	4,486	3,442																																																				
アンマン 2 E0	1,544	2,007	2,470	1,846	1,859	1,330																																																				
ザルカ E0	1,457	1,894	2,777	1,338	1,213	2,425																																																				
アカバ E0	701	911	1,184	270	199	760																																																				
合計	7,015	9,120	15,294	9,358	10,491	10,558																																																				
	(指標 1-2) プロジェクト終了時 (2020 年) までに、パイロット CGOs を利用する学生及び卒業生の数が全学生数の 20%以上になる	<p>達成状況 (継続状況) : 計画を超えて達成 (一部継続) (事業完了時)</p> <p>すべてのパイロット CGOs は目標を上回り、達成率は 109%となった。</p> <p>(事後評価時)</p> <p>2021 年から 2023 年にかけてパイロット CGOs を利用した学生・卒業生の数は把握できたが、学生総数が把握できなかったため、どの程度の割合の学生が利用したのかは確認できなかった。しかし、事業完了後の増減を確認すると、6 つのうち 3 つのパイロット CGOs では、COVID-19 の感染拡大の影響があったにもかかわらず、本事業で導入された活動を継続し、2023 年にはパイロット CGOs を利用する学生・卒業生の数が事業完了時に比べて増加している。残り半数の CGOs は、組織改編や人事異動により、本事業で導入された活動を十分に継続できていない。GJU の場合、イノベーションと起業家の育成を目的とした新体制に移行し、大学におけるさらなる発展が図られた面もあるが、本事業に関わったスタッフはすでに大学を去っており、本事業での取り組みは新体制に引き継がれなかった。</p> <p style="text-align: center;">パイロット CGOs を利用する学生と卒業生の数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>目標値 (全生徒数の 20%)</th> <th>実績値 (達成率)</th> <th colspan="3">実績値</th> </tr> <tr> <th>2020</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JUST</td> <td>4,691</td> <td>4,854 (103%)</td> <td>2,128</td> <td>3,183</td> <td>5,468</td> </tr> <tr> <td>UOP</td> <td>2,250</td> <td>2,262 (101%)</td> <td>1,310</td> <td>990</td> <td>118</td> </tr> <tr> <td>GJU</td> <td>840</td> <td>895 (107%)</td> <td>N/A</td> <td>N/A</td> <td>N/A</td> </tr> <tr> <td>BAU</td> <td>2,200</td> <td>2,340 (106%)</td> <td>3,383</td> <td>3,292</td> <td>3,293</td> </tr> <tr> <td>AHU</td> <td>1,120</td> <td>1,692 (151%)</td> <td>817</td> <td>672</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>ACCU</td> <td>266</td> <td>308 (116%)</td> <td>425</td> <td>560</td> <td>630</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11,367</td> <td>12,351 (109%)</td> <td>N/A</td> <td>N/A</td> <td>N/A</td> </tr> </tbody> </table>		目標値 (全生徒数の 20%)	実績値 (達成率)	実績値			2020	2020	2021	2022	2023	JUST	4,691	4,854 (103%)	2,128	3,183	5,468	UOP	2,250	2,262 (101%)	1,310	990	118	GJU	840	895 (107%)	N/A	N/A	N/A	BAU	2,200	2,340 (106%)	3,383	3,292	3,293	AHU	1,120	1,692 (151%)	817	672	105	ACCU	266	308 (116%)	425	560	630	合計	11,367	12,351 (109%)	N/A	N/A	N/A	事業完了報告書、KAFD 及びパイロット CGOs		
	目標値 (全生徒数の 20%)	実績値 (達成率)		実績値																																																						
	2020	2020	2021	2022	2023																																																					
JUST	4,691	4,854 (103%)	2,128	3,183	5,468																																																					
UOP	2,250	2,262 (101%)	1,310	990	118																																																					
GJU	840	895 (107%)	N/A	N/A	N/A																																																					
BAU	2,200	2,340 (106%)	3,383	3,292	3,293																																																					
AHU	1,120	1,692 (151%)	817	672	105																																																					
ACCU	266	308 (116%)	425	560	630																																																					
合計	11,367	12,351 (109%)	N/A	N/A	N/A																																																					

	<p>(指標2) プロジェクト終了時(2020年)までに、各パイロットE0/CG0の活動に協力する企業数が20増加する</p>	<p>達成状況(継続状況): 計画を超えて達成(継続) (事業完了時) すべてのパイロットE0s/CG0sは目標を達成、あるいは上回った。目標値の合計220社に対し、実績値は344社で、達成率は156%であった。 (事後評価時) パイロットE0s/CG0sの活動に協力した企業数は、事業完了時の344社に対し、2023年には合計484社に達した。2023年の企業数には、2023年から始まった全国雇用キャンペーンに参加している企業も含まれる。</p> <p style="text-align: center;">各パイロットE0/CG0の活動に協力する企業数</p> <table border="1" data-bbox="528 338 1305 801"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>目標値</th> <th>実績値(達成率)</th> <th colspan="3">実績値</th> </tr> <tr> <th>2020</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イルビッドE0</td> <td>20</td> <td>27(135%)</td> <td>10以下</td> <td>10以下</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>アンマン1E0</td> <td>20</td> <td>44(220%)</td> <td>N/A</td> <td>N/A</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>アンマン2E0</td> <td>20</td> <td>22(110%)</td> <td>32</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>ザルカE0</td> <td>20</td> <td>29(145%)</td> <td>78</td> <td>70</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>アカバE0</td> <td>20</td> <td>26(130%)</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>JUST</td> <td>20</td> <td>50(250%)</td> <td>21</td> <td>22</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>UOP</td> <td>20</td> <td>47(235%)</td> <td>47</td> <td>47</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>GJU</td> <td>20</td> <td>38(190%)</td> <td>38</td> <td>38</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>BAU</td> <td>20</td> <td>20(100%)</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>AHU</td> <td>20</td> <td>20(100%)</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>ACCU</td> <td>20</td> <td>21(105%)</td> <td>30</td> <td>36</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>220</td> <td>344(156%)</td> <td>N/A</td> <td>N/A</td> <td>484</td> </tr> </tbody> </table>		目標値	実績値(達成率)	実績値			2020	2020	2021	2022	2023	イルビッドE0	20	27(135%)	10以下	10以下	70	アンマン1E0	20	44(220%)	N/A	N/A	44	アンマン2E0	20	22(110%)	32	40	40	ザルカE0	20	29(145%)	78	70	69	アカバE0	20	26(130%)	40	40	40	JUST	20	50(250%)	21	22	20	UOP	20	47(235%)	47	47	47	GJU	20	38(190%)	38	38	38	BAU	20	20(100%)	60	60	60	AHU	20	20(100%)	20	20	20	ACCU	20	21(105%)	30	36	36	合計	220	344(156%)	N/A	N/A	484	<p>事業完了報告書、MOL、KAFD、パイロットE0s/CG0s</p>
	目標値	実績値(達成率)		実績値																																																																																		
	2020	2020	2021	2022	2023																																																																																	
イルビッドE0	20	27(135%)	10以下	10以下	70																																																																																	
アンマン1E0	20	44(220%)	N/A	N/A	44																																																																																	
アンマン2E0	20	22(110%)	32	40	40																																																																																	
ザルカE0	20	29(145%)	78	70	69																																																																																	
アカバE0	20	26(130%)	40	40	40																																																																																	
JUST	20	50(250%)	21	22	20																																																																																	
UOP	20	47(235%)	47	47	47																																																																																	
GJU	20	38(190%)	38	38	38																																																																																	
BAU	20	20(100%)	60	60	60																																																																																	
AHU	20	20(100%)	20	20	20																																																																																	
ACCU	20	21(105%)	30	36	36																																																																																	
合計	220	344(156%)	N/A	N/A	484																																																																																	
	<p>(指標3) プロジェクト終了時(2020年)までに、パイロットE0s/CG0sを利用した若年求職者及び学生の満足度が、5点中3.5点以上を獲得する</p>	<p>達成状況(継続状況): 計画どおり達成(検証不可) (事業完了時) 満足度の総合平均は5点満点中4.2点であった。 (事後評価時) 事業完了以降、満足度調査が実施されておらずデータがないため、本指標の継続状況は検証できない。</p> <p style="text-align: center;">パイロットE0s/CG0sを利用した若年求職者及び学生の満足度</p> <table border="1" data-bbox="520 1043 1318 1245"> <thead> <tr> <th></th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個別キャリアカウンセリング・セッション</td> <td>4.7</td> <td>N/A</td> <td>N/A</td> <td>N/A</td> </tr> <tr> <td>グループ・キャリアカウンセリング・セッション</td> <td>4.0</td> <td>N/A</td> <td>N/A</td> <td>N/A</td> </tr> <tr> <td>ジョブフェア</td> <td>4.0</td> <td>N/A</td> <td>N/A</td> <td>N/A</td> </tr> <tr> <td>総合平均</td> <td>4.2</td> <td>N/A</td> <td>N/A</td> <td>N/A</td> </tr> </tbody> </table>		2020	2021	2022	2023	個別キャリアカウンセリング・セッション	4.7	N/A	N/A	N/A	グループ・キャリアカウンセリング・セッション	4.0	N/A	N/A	N/A	ジョブフェア	4.0	N/A	N/A	N/A	総合平均	4.2	N/A	N/A	N/A	<p>事業完了報告書及びKAFD</p>																																																										
	2020	2021	2022	2023																																																																																		
個別キャリアカウンセリング・セッション	4.7	N/A	N/A	N/A																																																																																		
グループ・キャリアカウンセリング・セッション	4.0	N/A	N/A	N/A																																																																																		
ジョブフェア	4.0	N/A	N/A	N/A																																																																																		
総合平均	4.2	N/A	N/A	N/A																																																																																		
<p>上位目標 パイロットE0s/CG0s及び他のE0s/CG0sで効果的な若年層へのキャリア</p>	<p>(指標1-1) 2023年までに、すべてのE0sが「プロジェクトの成果」を活用した若年層へのキャリアカウンセリングを提供する</p>	<p>達成状況: 計画どおり達成 (事後評価時) MOLによると、2021年から事後評価時まで、全17E0sが「プロジェクトの成果」を活用してキャリアカウンセリングを実施している。キャリアカウンセリングツールは、MOLのウェブサイト公開されている。</p>	<p>MOL</p>																																																																																			
<p>層へのキャリア アカウンセ リングが実施 される</p>	<p>(指標1-2) 2023年までに、「プロジェクトの成果」を活用した若年層へのキャリアカウンセリングを提供する大学、短期大学が15か所以上となる</p>	<p>達成状況: 検証不可 (事後評価時) KAFDの報告によると、ツールは全CG0sに配布されたが、その利用状況は大学/短期大学によって異なる。しかし、「プロジェクトの成果」を活用している大学/短期大学の正確な数は、データがないため確認できなかった。</p>	<p>KAFD</p>																																																																																			
	<p>(指標2) 2023年までに、パイロットE0sを利用した若年求職者の就職率が50%以上になる</p>	<p>達成状況: おおむね計画どおり達成 (事後評価時) MOLによると、2023年の若年求職者の就職者数は5,256人であった。2023年にパイロットE0sを利用した若年求職者数が10,558人(プロジェクト目標の指標1-1参照)であることから、就職率は49.8%と推定できる。なお、就職した若年求職者の数には、研修などの間接的なサービスを受けたが自分自身で就職先を見つけた人が含まれている可能性がある。</p>	<p>MOL</p>																																																																																			
	<p>(指標3) 2023年までに、パイロットCG0sを利用した事がある卒業生の卒業後1年以内の就職率が40%以上になる</p>	<p>達成状況: 検証不可 (事後評価時) CG0sを利用した卒業生の就職率を提供したのはBAUのみであった。BAUのデータのみから判断すると、就職率は2021年に32%、2022年に59%、2023年には67%に達しているが、6つのパイロットCG0のうち1つのCG0のデータしか入手できなかったため、この指標の達成度は検証できない。</p>	<p>KAFD及びパイロットCG0s</p>																																																																																			

3 効率性

事業費及び事業期間は計画内に収まった（計画比：それぞれ97%、100%）。

	事業金額（日本側の支出のみ、円）	事業期間（月）
計画（事前評価時）	303 百万円	36 カ月
実績	295 百万円	36 カ月
割合（%）	97%	100%

アウトプットは計画どおり産出された。

以上より、効率性は④と判断される。

4 持続性

【政策面】

キャリアカウンセリングの質を高めるための具体的な政策はない。しかし、職業技能開発委員会 (Vocational Skills Development Commission: TVSDC) によって新設されたキャリアカウンセリングの資格認定制度は、キャリアカウンセリングの体制整備を加速させるものであり、MOL は、実務の専門性を持った認定キャリアカウンセラーの数を増やしたいと考えている。さらに、MOL と TVSDC は、キャリアカウンセラーの資格レベルを現在の職業レベルから上級レベルに引き上げることを計画している。このように、資格認定制度の確立は、事業効果の持続性を後押しするものといえる。

【制度・体制面】

2020 年に MOL は組織再編を行い、MOL 本部と、アンマン 1 及びアンマン 2 の部局にキャリアガイダンス・カウンセリング部 (Career Guidance and Counselling Departments: CGCDs) が設置された。この再編以前は、雇用・キャリアガイダンス部は雇用局 (Directorate of Employment) の下で運営されていたが、再編により、CGCDs の独立性が強化された。CGCDs の新設により、専門職としてのキャリアカウンセリングの重要性が高まり、明確で具体的な役割が与えられた。現在、本部に新設された CGCDs の監理のもと、17 すべての EOs が、本事業で開発されたツールや教材を活用してキャリアカウンセリングサービスを提供している。

MOL の中央レベルでの人員配置については、本部の CGCD に 2 人の職員が配置されており、EOs の監理などの機能を果たしている。CGOs の人員配置は大学によって異なり、JUST、UOP、BAU のように本事業実施時から継続して同じスタッフが配置されている大学もある。しかし、一部の大学では、人事異動や組織改編により本事業で導入された取り組みを継続しておらず、そのような大学では事業効果を持続させるための人員配置が確保されているとは言い難い。

【技術面】

MOL では、新しく配属されたキャリアカウンセラーに対する研修が制度化されている。研修の実施を担う CGCDs は、EOs や中央の部署に新しく配属されたスタッフに研修を実施している。資格認定制度も、キャリアカウンセラーの知識と技能を維持するための取り組みである。すべての EOs は、本事業で提供されたマニュアルや資料を活用し続けており、MOL によると、これらのマニュアルや資料はキャリアカウンセラーの実務に役立ち、カウンセリングの質の向上に貢献しているという。

CGOs の技術能力は CGOs によって異なる。本事業で導入された活動を継続している CGOs では、マニュアルや教材が活用されている。本事業に関わった意欲的なキャリアカウンセラーは、事業完了後もネットワークを広げており、例えば、JUST の CGO ディレクターとキャリアカウンセラーは、アラブ首長国連邦の大学に招かれ、キャリアカウンセリングの知識と経験を共有した。また、本事業で研修を受けた ACCU のキャリアカウンセラーの中には、新たに導入されたキャリアカウンセリングの資格、及びアメリカ合衆国の国家キャリア開発協会 (National Career Development Association) の資格を取得し、アカバに新設されたアカバ国立職業訓練ハブという訓練機関に知識を移転した者もいる。一方、本事業で導入された活動が組織改編や人事異動により十分に継続されていない CGOs では、本事業で移転された技術能力が十分に維持されていない。

【財務面】

必要な予算は政府から割り当てられている。また、TVSDC 及び MOL は資格認定制度を拡充している中、TVSDC はキャリアカウンセリングの能力開発のために GIZ から財政支援を受けている。

【環境・社会面】

環境・社会面の問題は確認されず、対応策を講じる必要はなかった。

【評価判断】

以上より、実施機関の制度・体制面及び技術面に軽微な問題があるが、本事業によって発現した効果の持続性は③と判断される。

5 総合評価

本事業は、プロジェクト目標を、計画を超えて達成し、パイロット EOs/CGOs が提供する若年層へのキャリアカウンセリングの質と量が改善された。また、パイロット EOs/CGOs 及び他の EOs/CGOs で効果的な若年層へのキャリアカウンセリングの実施を掲げた上位目標に関しては、限られた情報に基づく評価ではあるものの、おおむね達成した。持続性に関しては、資格認定制度の導入や CGCDs の設立は、キャリアカウンセリングの質の向上や、事業効果の持続性を後押しするものである。

以上より、総合的に判断すると、本事業の評価は非常に高いといえる。

III ノンスコア項目

付加価値・創造価値

・本邦研修では、日本がアメリカ合衆国からキャリアカウンセリング制度を導入したことや、日本の資格認定制度が日本の状況や文脈に合わせてアレンジされたものであることが紹介された。キャリアカウンセリングの資格認定制度に関する研修での議論は、ヨルダンでの資格認定制度の導入に大きく貢献した。

IV 提言・教訓

実施機関 (KAFD) への提言：

・現在、大学で提供されているキャリアカウンセリングサービスの質のレベルは、大学によってばらつきがある。そのため、KAFD は定期的に CGOs によるサービス提供状況をモニタリングすることが求められる。また、CGOs が必要な役割を果たせるよう、マニュアルの提供や、研修、他の CGOs とのネットワーク作りなどの支援を提供することも重要である。

JICA への教訓：

- ・ COVID-19 の感染拡大は、本事業完了直後の 2020 年 3 月以降、EOs 及び CGOs の活動を停滞させ、本事業で導入された活動の継続と成果の普及に影響を与えた。感染拡大による機能停滞は、2022 年まで本事業に関連する活動と成果の推進を妨げた。したがって、本事業の持続性を確保するために、JICA は専門家を派遣し（あるいは関係者とオンラインで協議し）、感染拡大が事業の持続性に及ぼす影響を検証・調査したうえで、問題点を特定し、それに対する対策を JICA のヨルダン事務所及び本部に提案すべきであった。特に事業完了直後に感染拡大の影響を受けた事業に関しては、より早期のフォローアップが必要であった。
- ・ 事後評価において、一部の指標ではデータが得られず、プロジェクト目標の継続状況や上位目標の達成度を検証することができなかった。実施機関や関連機関による指標のモニタリング状況を十分に把握し、プロジェクト計画時に、事業完了後もモニタリングができて測定可能な指標を設定する、あるいは事業期間中にそれらを修正する必要がある。



アカバ労働局にて、局長、キャリアカウンセリング部長、新任スタッフ、ACCU のスタッフとの事後評価面談（2024 年 6 月）



2018 年のアンマンで実施された「キャリアカウンセラー研修」での MOL 及び KAFD のチーム